

会派代表質問

政 真 会

猪崎 紀人 議員



地域特性を考慮した企業誘致 及び公営企業会計について

○サウンディング型市場調査について

問 今回行っているサウンディング型市場調査の目的と効果は。

答 サウンディング型市場調査とは、民間事業者と意見交換を通じ、市場性の把握やアイデアの収集などを目的として、事業化検討や事業者選択において実施されるものです。現在、市が実施しているサウンディング型市場調査は、みどりが丘市有地及び圏央道大網白里スマートインターチェンジ近接エリアへの企業誘致の実現可能性や、民間事業者の意向等を聞くものであり、事業への関心や参入意欲を高めるなどの効果が期待できます。

問 今回のサウンディング型市場調査の目標件数と参加状況は。

答 事業発案のための情報収集を目的としているため、目標件数は定めていません。参加状況は、みどりが丘市有地の有効活用が3件、大網白里スマートインターチェンジ近接エリアの土地利用が3件です。

問 今回のサウンディング型市場調査を、どのような方法で周知しましたか。

答 市ホームページと、PFI事業の啓蒙活動を行う、日本PFI・PPP協会のホームページに掲載し、昨年11月に参加した国土交通省主催のサウンディング型市場調査で意見交換を行った企業10社に対し参加を呼び掛け、本年1月に開催した千葉県主催のサウンディング型市場調査の会場においても、参加事業者チラシを配布しました。

問 今回のサウンディング型市場調査をするにあたり、何かインセンティブを付与しましたか。

答 今回の調査は初期段階のため、インセンティブは付与していません。

○ヨウ素の活用について

問 次世代型太陽光電池として、現在、ペロブスカイト太陽光電池が世界で注目されています。その原材料のヨウ素は、日本が世界第2位の産出国であり、その80%が、この外房地域に埋蔵されています。この地域特性を活かし、企業誘致は行っていますか。

答 本市におきましても貴重な資源であるヨウ素が、大きな強みになるものと認識し、引き続きヨウ素関連企業の動向を注視していきます。

○農業法人誘致について

問 本市の耕作放棄地の面積と農地に対する耕作放棄地の比率は。

答 令和3年度、耕地面積2400haに対して遊休農地24ha、1%、令和4年度、耕地面積2380haに対して遊休農地19ha、0.8%、令和5年度、耕地面積2340haに対して遊休農地19ha、0.8%です。

問 本市の遊休農地解消の取組は。

答 毎年7月から8月にかけて、現地確認を実施し、遊休農地の把握に努めています。遊休農地と判断された農地に対して、農地の貸し借りを仲介する農地中間管理事業への登録案内をするなど、耕作再開に向けた働きかけを行っています。

問 本市における農業法人の誘致活動は。

答 農業法人を誘致することで、雇用の確保、将来の担い手確保など、様々な効果が得られると考えており、農業法人参入の先進地視察に参加し、情報収集等に努め、農業法人誘致の研究をしていきます。

○大網病院について

問 公立病院の病院事業の収益力を判断するため、医業収支より一般会計からの繰入金を除く医業収支の比率を、修正医業収支比率と言いますが、大網病院の修正医業収支比率は、直近10年間で80%以上を維持していますか。

問 高齢化率も高まり、人口減少も進む本市における大網病院の果たす役割は。

答 日常の医療サービスの提供と市民の健康管理、また、高度な機能を有する東千葉メディカルセンターなどの後方支援病院としての機能が求められていると認識しています。

問 2024年度診療報酬改定において、新たに創設された地域包括医療棟への転換は考えていませんか。

答 今後、急増が見込まれる高齢の救急患者受け入れ病床への転換を検討しましたが、当院は要件を満たさず取得に至りませんでした。

その他、テレワークの拠点整備について、ワーケーションの取り組みについて、下水道施設の維持管理及び今後の改築更新工事について質問いたしました。

関連質問

森 建二 議員



○市のガス事業について

問 大網白里市は南関東ガス田に位置し、全国トップレベルの安価なガス供給を実現しています。ただ近年は財政が悪化、令和5年度決算では初めての赤字を計上しました。「地産地消」のエネルギーとして本市ガス事業は重要。ガス事業の現況は。

答 1か月当たり50mを使用した場合、本市は現在4,507円、改定案の令和9年度は6,303円となる。近隣市町は約5,600(6,000円、大多喜ガス(株)は6,541円。また本市は一般家庭の割合は85.4%、東金市は51.6%、九十

九里町は56.3%、白子町は55.9%、長南町は31.6%、大多喜ガス(株)は8.1%。

近隣は業務系の大口供給があるが、本市は一般家庭への販売が大部分を占め、気温上昇や人口減少により、今後も販売量は減少すると考えられる。経費節減や事業の効率化に努め、また料金の見直しも行いながら経営を維持して参ります。

○行政事務手続について

問 ウインドウズ10が今年の10月にサポート終了。市のシステム変更に伴い職員パソコン入替のコストは。

答 当初予算要求では1億422万円。職員用PCや窓口の業務用PC559台の購入経費で8,501万円、オフィスの購入費で970万円、その他経費が951万円です。

問 私のこのパソコン、3万円ですが、559台に1億442万円、1台に直すと18万円超。一昨年、茨城県境町へ視察に行った折聞きました。ネット上で調べて予算15万円に対して6万円オフイス付を導入、百台で9百万円の費用削減を実現したそうです。

答 今後、市場調査し、適正な金額で入札を執行して参ります。

PCスペック、必要な数値を確認し、最善の策を見つけて下さい。

○保健文化センター等の予約手続

問 申込みスマホ等の予約システムを導入すべきと思うがいかがか。

答 予約は、使用予定月の2か月前の1日から使用許可申請、もしくは仮予約が可能。現在、大網白里アリーナの予約の千葉施設予約システムへの参加を検討。保健文化センターの予約システム導入も併せて検討。

保健文化センターの予約開始が2か月前。これでは各文化団体がイベントの予定をたてられず、近隣の文化会館等に逃げていくと聞きます。せっかくの市の財産、使いやすい方法を検討下さい。

個人質問

一般市民からの投書の内容と、その内容に対しての市側の対応について

岡田 憲二 議員



問 最近私のところに3通の投書が寄せられております。1通目の投書の中から4ヶ所、2通目からは9ヶ所、3通目から3ヶ所、合計16項目からそれぞれ抜粋して調査するようお願いした。過日担当課のほうから調査が終わったとして結果が私に示された。結果の内容は、事実として認めたのは職員が退職したことだけ、あと全部否定するという調査結果であった。この市側の調査結果を要約したならば、私に寄せられた3通の投書の内容は職員が退職した、それ以外の内容は全て事実と反した内容、悪い言葉で表現すれば全てうそだったということになる。私はそのように感じたが、職員を指導する立場にある副市長にお尋ね致します。私が今言ったことで宜しいですね、市側の対応として。

副市長 投書の内容についての真偽を確認するように総務課の方に問い合わせがあったという事実を承知している。回答の内容についても承知している。

問 承知しているということは先ほど私が言ったように市民から私に寄せられた投書の内容は、全てうそであったということを確認したとそういうことならば、市長としてこの件に関してどういうふうにお考えか。

市長 内容を確認したが、推定をするような内容で、噂話の域を出ないのではないかなというふうに感じた。問 私から考えると、議員たる立場の私に投書という形をとって何かを訴えてきたんですね。それが全て、実際はうそのことを訴えてきたということは考えられない。それでは市側が唯一認めた職員が退職したことに関してお尋ねする。この職員に関

して投書の中での記述は、前途有望の若手職員が組織の不満から退職せざるを得なかったこと。また、今後の大網白里市を支えていけるだけの能力がある有望視されていた職員、投書3通のうち2通に記述されていた。我々議員にもこの職員が有能な人材として伝わっていた事実もあった。副市長にお尋ねする。この職員が退職することを知ったとき副市長はどのような対応をされたか。

副市長 総務課長のほうから本人と面談した段階で引き止めをしたと報告を受けている。本人の辞意が固く次の就職先も既に決めているとの報告なので私からは特に改めて慰留せよとかいう指示は行っていない。

問 市長はどういう対応をされたか。

市長 総務課長が面談した後、副市長の報告があった。その後に私にも報告があった。

その職員が辞めざるを得なくなつたというのはそれなりの理由があるからだとは思っている。将来ほかの職員からも嘱望されている有能な職員が、何の理由もないのに辞めるということとは考えられない。この投書の内容だとその職員はいろいろなことがあって相談していたということも書いてある。確かに相談していたのは事実だと私は思う。それでもなおかつ、どうしても話を聞いてもらえないという段階で、これは辞めざるを得ないなという判断をしたのではないかと思う。そういうことで私が言いたいのは、そういう優秀な職員を育てるようなことで幹部職員の皆さんが進めていかないと困っていることを相談されたら聞いてやるぐらいの広い心で職員を育てないと優秀な人材は居着かないと思います。